

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コマザワダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) カネムラ
駒澤大学	経営学部	兼村 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) ユトリホシ	フリガナ) シオザワ ケンタ	8	無
ゆとりの星	塩沢 健太		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

ポインター、指差しシート

研究テーマ (発表タイトル)

訪日外国人と高齢者をマーケティングでつなげよう！

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちのゼミでは日頃マーケティングを学習している。「訪日外国人需要」「超高齢社会」を研究テーマと設定し、マーケティングの知識を用いながらそれぞれを深掘りして本企画を提案する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

・「訪日外国人需要」⇒「訪日外国人の消費動向を分析」

観光庁によると、2016年の訪日外国人の数は約2,400万人となり、2011年から約1,800万人も増加している。2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるため、更なる訪日外国人の増加が期待できる。訪日外国人の消費動向を分析すると、「訪日外国人の訪日目的は様々な分野に及ぶが、訪日前では“食”に最も期待している」ということが分かった。そこで私たちは、「外国人がどのような日本の“食”を知っているのだろうか」という疑問を抱き、訪日外国人211名に対してアンケート調査を実施した。すると、寿司やラーメンなどへの認知度は高いが、ほうとうやせんべい汁など、いわゆる郷土料理に対する認知度は小さいあるいは、全く認知されていないことが判明した。また、本調査において「知らない日本食をもっと知りたいか」という問いに対して、全体の83.9%が「知りたい」と回答した。

・「超高齢社会」⇒「高齢者の行動動向を分析」

内閣府によると、2015年の65歳以上の高齢者の割合は、日本の人口に対して26.8%であり、今後もこの値は増えていくと予想されている。また、65歳以上の高齢者の一人暮らしの割合は2015年で約600万人であり、2010年から約120万人も増加している。本データによると、2035年には2015年から約160万人も増加することが読み取れた。このことから私たちは、「今後、高齢者の孤独化がさらに深刻化していくのではないか」という仮説を立てた。さらに分析をすすめると、男女ともに65歳以上の一人暮らし世帯が圧倒的に会話頻度が低いことが判明した。

3. 研究テーマの課題

以上のことから、私たちは「訪日外国人が日本食を知る機会がないこと」と「高齢者の孤独化とコミュニティ不足」を解消することを課題に設定し、それぞれを包括的に解決することができないかを考えた。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

「Local Foods Community～食で回ろう日本一周～」

【概要】

“訪日外国人”に“高齢者”が郷土料理を教える料理教室

【ターゲット（外国人）】

① 居住地域：ヨーロッパ・北アメリカ

➡地域別訪日外国人人数より決定

② 訪日頻度：中頻度訪日者層（2～3回目）

➡2016年の訪日外国人行動調査より決定

③ 嗜好：日本食を好む

【ターゲット（高齢者）】

① 年齢：65～74歳

➡現状分析での課題を解決するため。

② 出身地：東京都外

➡郷土料理を外国人に教えるため、郷土料理を作れることが条件となる。

【ターゲットに与えることのできる価値】

（1）外国人

日本食を幅広く知りたいというニーズを充足するため、料理教室を通じて郷土料理を教わる場の提供。

（2）高齢者

高齢者の孤独化を解消するために料理教室を通じて、コミュニケーションの場を提供する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

アンケート調査の実施

（1）アンケート調査①

① 対象：外国人

② 人数：n=211

③ 実施期間：2017年8月11日（金）～13日（日）

④ 実施場所：渋谷駅

⑤ 内容：

・知っている日本食はどれか

・知らない日本食をもっと知りたいか

（2）アンケート調査②

① 対象：高齢者

② 人数：n=233

- ③ 実施期間：2017年8月11日（金）～13日（日）
- ④ 実施場所：世田谷区
- ⑤ 内容：
 - ・自分の故郷の料理を外国人に教える機会があれば参加したいか

（3）アンケート調査③

- ① 対象：外国人
- ② 人数：n=127
- ③ 実施期間：2017年9月18日（金）～20日（日）
- ④ 実施場所：渋谷駅
- ⑤ 内容：
 - ・郷土料理教室があれば参加してみたいか

6. 結果や今後の取り組み

本企画は、実行に向け準備を進めている。そこで、現状、十分に実行することが可能であるかを調査した。結果は以下の通りである。

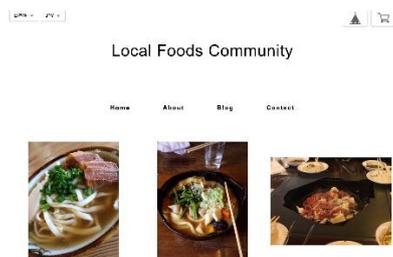
【実現可能性】

（1）外国人と高齢者の参加可能性

「日本の郷土料理教室があれば参加してみたいか」という外国人への問いに 64%が参加したいと回答し、「自分の故郷の料理を外国人に教える機会があれば参加したいか」という問いには、4人に1人が参加したいと回答した。この結果から、ターゲットは十分に参加できると考えた。

（2）企画開催をどのようにターゲットへ伝達するのか

訪日外国人へは、空港でのチラシ配布や SNS を用いた告知。高齢者へは区役所への告知を考案。また、両者へ向けて HP イメージ図を作成した。



（2）言語の壁

指差しシートの作成案により、言語的制約を乗り越えることが可能。

（3）公民館使用について

電話調査により、公民館の使用が可能であることを確認。

【将来展望】

- ・団体向け旅行への組み込みを検討。
- ・料理教室を通じて高齢者コミュニティ増加を目指す。
- ・料理教室を通じて地方文化を発信。

7. 参考文献

【書籍】

安倍俊廣編 2016「マーケティング基礎読本」日経 BP 社

青木幸弘編 2015「ケースに学ぶマーケティング」有斐閣ブックス

恩藏直人著 2008「改訂版 マーケティング論」放送大学教育振興会

フィリップ・コトラー, ケビン・レーン ケラー著、月谷真紀訳、恩藏直人監修 2014「コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント

(基礎編) 第3版]丸善出版

【WEB ページ】

・訪日外客数動向データ (日本政府観光局) 2017年5月30日

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_tourists.pdf

・東京2020ホームページ 2017年6月1日

<https://tokyo2020.jp/jp/games/plan/>

・オリンピック大会概要 (東京都オリンピック・パラリンピック準備局) 2017年6月1日

<https://www.2020games.metro.tokyo.jp/>

Economic Impact of the Tokyo 2020 Olympic Games 2017年6月1日

https://www.boj.or.jp/en/research/brp/ron_2016/data/ron160121b.pdf

・Yahoo! JAPAN 2017年6月15日

<https://follow.yahoo.co.jp/themes/06f3f15e5260c2bc3919/>

・平成29年版高齢社会白書 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向 (内閣府) 2017年6月17日

http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/zenbun/s1_2_1.html

・平成27年版高齢社会白書 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向 (内閣府) 2017年6月17日

http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/zenbun/28pdf_index.html

・平成28年年次報告書 訪日外国人の消費動向 (内閣府) 2017年6月23日

<http://www.mlit.go.jp/common/001179486.pdf>

・米輸出関連ホームページ (農林水産省) 2017年7月18日

http://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/kome_yusyutu/kanren.html

・Olympic Inbound effect 2017年7月20日

https://www.japantimes.co.jp/news/2014/09/10/business/economy-business/olympic-games-expected-provide-economic-stimulus/#.Wcs_U7try4Q

・公民館調査 (2011 総務省 統計局) 2017年8月10日

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001047457&cycode=0>

・公民館類似施設の施設・設備の所有施設数 2017年8月10日

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/Xlsdl.do?sinfid=000031559105>

以下用紙上限により省略

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合は、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください